



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 伊藤忠食品株式会社

コード番号 2692 URL <https://www.itochu-shokuhin.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 岡本 均

問合せ先責任者 (役職名) 経財本部本部長 (氏名) 濱田 英樹 TEL 03-5411-8595

半期報告書提出予定日 2024年11月6日 配当支払開始予定日 2024年11月25日

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（機関投資家、証券アナリスト向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	352,385	4.0	4,969	15.2	7,028	39.2	5,157	46.0
2024年3月期中間期	338,881	4.0	4,315	26.2	5,048	22.6	3,533	23.0

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 5,155百万円 (△17.5%) 2024年3月期中間期 6,246百万円 (132.4%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
2025年3月期中間期	円 銭 406.50	円 銭 —
2024年3月期中間期	278.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	267,368	113,660	42.5
2024年3月期	274,496	109,268	39.8

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 113,640百万円 2024年3月期 109,248百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	50.00	—	60.00	110.00
2025年3月期	—	60.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	700,000	4.1	9,000	17.5	10,000	8.5	7,000	6.1	551.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	12,720,000株	2024年3月期	12,720,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	33,090株	2024年3月期	33,049株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	12,686,948株	2024年3月期中間期	12,687,133株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算説明資料は2024年10月31日（木）に当社ウェブサイトへ掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
3. 補足情報	10
販売の状況	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、株式市場の回復が見られ雇用は改善し名目賃金が増加する中、緩やかに景気は持ち直すも、物価高による実質賃金の低迷で個人消費は弱含む等、足元では横ばいの景況感で推移しております。

食品流通業界におきましては、記録的な猛暑や自然災害への対策需要に加え、急増するインバウンド需要等の貢献もあり比較的堅調に推移してきましたが、原材料のコストアップ、物流の2024年問題への対応など人手不足の深刻化等により商品価格は継続して値上がりしており、次第に消費者の生活防衛的節約志向への動きが顕在化してきております。消費者ニーズを満たす低価格・PB商品と付加価値商品の人気が併存する消費の二極化傾向がより鮮明になるものと予想されます。

このような状況下、当社グループは中期経営計画「Transform 2025～創造と循環～」の2年目を迎え、計画達成に向けた盤石な営業・経営基盤の構築に引き続き邁進しております。重点分野として掲げた「情報」では、店頭への来店動機や商品の購買意欲の喚起を目的として、デジタルサイネージを活用した売り場作りを積極的に推進いたしました。生鮮3品や加工食品の売り場に加えて、店舗の入り口やレジ前への設置も進めることで消費者との接点を増やしております。また、プレゼントキャンペーンをはじめとして多様なコンテンツと売り場が連動する販促を実施する等、デジタルサイネージ効果の発揮に向けて、製配販が一体となって魅力的な売り場作りを進めております。「商品開発」では、冷凍食品のオリジナルブランド「凍眠市場」を活用した「凍眠生酒」と「凍眠フルーツ」を展開しており、ラインナップを強化するとともに拡販に努めました。国産の高品質な素材を新鮮な状態で凍結することで、これまで生産地で限られた期間にしか味わえなかったおいしさを消費者に提供することができ、ギフトや宅配に加え、GMS・スーパーマーケットでの取り扱いもさらに拡がりました。「物流」においては、トラックの積載効率改善やドライバーの労働負荷軽減等、2024年問題に対して食品流通業界全体で取り組むとともに、デジタル技術の活用による庫内作業のデータ化と分析を推進し、サプライチェーン全体の効率化を目指し、各種取り組みを推進しております。また、これらの重点分野を支える基盤の強化として人的資本経営の高度化にも取り組んでおり、具体的には、シニア活躍のためのジョブ・マッチング制度の運用や社員間の情報交換の場として介護コミュニティを立ち上げました。加えて、DX推進においては、社員のリテラシーの底上げのため、前期に続きEラーニングとアセスメントを行うとともに、アセスメントにより選抜したメンバーによる未来を見据えたDX取組の各種検討を開始いたしました。

サステナビリティへの取り組みでは、2023年度に設定した非財務目標の達成に向けて取り組むとともに、非財務情報を含めた情報開示の充実を進めております。引き続き温室効果ガス排出量の削減、食品廃棄量の削減、ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの推進、健康経営推進等、各マテリアリティに掲げた項目への取り組みを推進し、持続的な成長を目指してまいります。

当中間連結会計期間の売上高は、主にGMS・スーパーマーケットやドラッグストア向けの取引拡大、並びに記録的な猛暑や自然災害への対策等により飲料を中心に好調に推移したことから、前年同期比13,505百万円(4.0%)増収の352,385百万円となりました。

利益面では、増収に加え低重心経営の徹底による経費改善等により、営業利益は前年同期比654百万円(15.2%)増益の4,969百万円、経常利益は一過性の持分法投資利益の増加等により前年同期比1,980百万円(39.2%)増益の7,028百万円となりました。その結果、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比1,624百万円(46.0%)増益の5,157百万円となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は267,368百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,129百万円の減少となりました。これは、取引拡大や飲料の夏季需要増等により、未収入金が5,553百万円、商品が2,389百万円、それぞれ増加したものの、前連結会計年度末の期末日休日要因の反動により売上債権が3,196百万円、グループ預け金が10,000百万円減少、また関係会社向け貸付金の返済により長期貸付金が1,197百万円減少したことなどによるものであります。

負債は、153,708百万円となり、前連結会計年度末に比べ11,521百万円の減少となりました。これは、売上債権の減少と同様の要因により、仕入債務が10,366百万円減少したことなどによるものであります。

純資産は、113,660百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,392百万円の増加となりました。これは、利益剰余金が4,396百万円増加したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは9,820百万円の支出となり、前年同期と比べ21,076百万円の収入の減少となりました。これは前年同期9月末日及び前期末日が休日であったことに伴う反動などによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは800百万円の収入となり、前年同期と比べ10,079百万円の支出の増加となりました。これは、グループ金融ターム型預け入れ満期に伴う収入が12,000百万円減少したことなどによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは1,023百万円の支出となり、前年同期と比べ193百万円の支出の増加となりました。これは、配当金支払による支出が254百万円増加したことなどによるものであります。

現金及び現金同等物の当中間連結会計期間末残高は、前連結会計年度末比10,043百万円減少の7,872百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において2024年4月30日に公表した通期の業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,615	1,572
受取手形及び売掛金	103,976	100,780
商品及び製品	16,608	18,997
未収入金	25,984	31,537
グループ預け金	59,300	49,300
その他	342	501
貸倒引当金	△191	△62
流動資産合計	207,634	202,625
固定資産		
有形固定資産	14,518	13,943
無形固定資産	4,151	4,265
投資その他の資産		
投資有価証券	36,670	36,750
関係会社出資金	780	205
長期貸付金	1,281	84
繰延税金資産	151	137
退職給付に係る資産	1,777	1,820
差入保証金	7,066	7,115
その他	491	445
貸倒引当金	△22	△22
投資その他の資産合計	48,193	46,534
固定資産合計	66,862	64,743
資産合計	274,496	267,368
負債の部		
流動負債		
買掛金	136,652	126,285
リース債務	516	506
未払法人税等	1,872	1,670
賞与引当金	1,165	963
役員賞与引当金	107	42
その他	13,773	13,236
流動負債合計	154,086	142,702
固定負債		
リース債務	3,594	3,347
繰延税金負債	4,874	5,026
資産除去債務	1,222	1,223
退職給付に係る負債	304	314
その他	1,148	1,095
固定負債合計	11,142	11,006
負債合計	165,228	153,708

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,923	4,923
資本剰余金	7,165	7,165
利益剰余金	82,768	87,164
自己株式	△114	△115
株主資本合計	94,741	99,137
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,534	14,532
退職給付に係る調整累計額	△28	△29
その他の包括利益累計額合計	14,507	14,504
非支配株主持分	20	20
純資産合計	109,268	113,660
負債純資産合計	274,496	267,368

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	338,881	352,385
売上原価	319,086	331,583
売上総利益	19,795	20,803
販売費及び一般管理費	15,480	15,834
営業利益	4,315	4,969
営業外収益		
受取利息	57	80
受取配当金	456	524
不動産賃貸料	135	135
持分法による投資利益	99	1,271
その他	132	144
営業外収益合計	879	2,153
営業外費用		
支払利息	41	37
不動産賃貸費用	45	48
解約損失引当金繰入額	54	—
その他	5	8
営業外費用合計	145	93
経常利益	5,048	7,028
特別利益		
投資有価証券売却益	6	10
特別利益合計	6	10
特別損失		
投資有価証券評価損	—	17
特別損失合計	—	17
税金等調整前中間純利益	5,054	7,021
法人税、住民税及び事業税	1,438	1,703
法人税等調整額	82	160
法人税等合計	1,520	1,863
中間純利益	3,534	5,158
非支配株主に帰属する中間純利益	1	1
親会社株主に帰属する中間純利益	3,533	5,157

(中間連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	3,534	5,158
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,676	△18
退職給付に係る調整額	2	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	34	16
その他の包括利益合計	2,712	△3
中間包括利益	6,246	5,155
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	6,245	5,154
非支配株主に係る中間包括利益	1	1

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	5,054	7,021
減価償却費	1,016	882
持分法による投資損益(△は益)	△99	△1,271
投資有価証券売却損益(△は益)	△6	△10
投資有価証券評価損益(△は益)	—	17
貸倒引当金の増減額(△は減少)	32	△129
賞与引当金の増減額(△は減少)	△238	△202
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△43	△35
受取利息及び受取配当金	△513	△604
支払利息	41	37
売上債権の増減額(△は増加)	△20,312	3,196
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,044	△2,389
未収入金の増減額(△は増加)	△6,460	△5,517
差入保証金の増減額(△は増加)	1,089	△49
仕入債務の増減額(△は減少)	33,467	△10,366
その他	723	△847
小計	11,708	△10,266
利息及び配当金の受取額	539	2,396
利息の支払額	△41	△36
法人税等の支払額	△950	△1,914
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,256	△9,820
投資活動によるキャッシュ・フロー		
グループ預け金の預入による支出	△18,000	△18,000
グループ預け金の払戻による収入	30,000	18,000
有形固定資産の取得による支出	△285	△182
無形固定資産の取得による支出	△809	△148
投資有価証券の取得による支出	△79	△88
投資有価証券の売却による収入	5	21
貸付金の回収による収入	80	1,197
その他	△32	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	10,880	800
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△321	△260
配当金の支払額	△507	△761
非支配株主への配当金の支払額	△2	△1
その他	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△830	△1,023
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	21,306	△10,043
現金及び現金同等物の期首残高	10,765	17,915
現金及び現金同等物の中間期末残高	32,071	7,872

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)及び
当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

当社及び連結子会社の報告セグメントは、食料品卸売事業のみであり、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

販売の状況

①商品分類別売上高

商品分類	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)		当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
ビール類	81,577	24.1	79,671	22.6	△1,906	△2.3
和洋酒	50,653	14.9	55,182	15.6	4,529	8.9
調味料・缶詰	52,466	15.5	55,896	15.9	3,431	6.5
嗜好品・飲料	89,117	26.3	94,288	26.8	5,171	5.8
麺・乾物	22,651	6.7	24,551	7.0	1,901	8.4
冷凍・チルド	12,861	3.8	13,572	3.9	711	5.5
ギフト	17,599	5.2	16,681	4.7	△918	△5.2
その他	11,958	3.5	12,544	3.5	586	4.9
合計	338,881	100.0	352,385	100.0	13,505	4.0

(注) 発泡酒及び新ジャンルの売上高は「ビール類」に含んでおります。

②業態別売上高

業態	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)		当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
卸売業	17,841	5.3	18,808	5.3	968	5.4
百貨店	8,908	2.6	8,035	2.3	△873	△9.8
GMS・SM	178,969	52.8	187,090	53.1	8,121	4.5
CVS	40,437	11.9	39,013	11.1	△1,423	△3.5
ドラッグストア	38,144	11.3	41,617	11.8	3,473	9.1
その他小売業	40,094	11.8	43,117	12.2	3,023	7.5
その他	14,488	4.3	14,705	4.2	217	1.5
合計	338,881	100.0	352,385	100.0	13,505	4.0

(注) 1 GMSはゼネラル・マーチャндаイズ・ストアであります。

2 SMはスーパーマーケットであります。

3 CVSはコンビニエンスストアであります。